

万博会場外

会場外 大阪・関西万博開催に向けた交通需要マネジメント(TDM)

一般交通の抑制、分散、平準化を目的とした働きかけ広報および調査



交通混雑緩和への取り組みは、来場者輸送対策のみでは十分とはいえません。一般交通の抑制、分散、平準化に向けた働きかけ「TDM」が必要です。効果的な広報手法・媒体等を企画・制作およびそのベースとなる調査を行います。

詳しくはこちら



※ TDM (Transportation Demand Management) とは、交通需要マネジメントの略。交通需要の調整により、交通混雑を緩和する取り組みです。



会場外 大阪府市が発行する万博記録集制作

万博誘致から機運醸成イベント等の大阪府市の取り組みをまとめた記録集を制作

開催都市である大阪府市の万博記録集を制作します。万博誘致活動から始まり、機運醸成イベント、大阪ヘルスケアパビリオンなどへつながる一連の取り組みをまとめ、記録に残します。

会場外 兵庫県の万博誘客施策

EXPO2025 デジタルウォレットを活用したデジタルスタンプ (NFT)、POP ツール制作

EXPO2025 デジタルウォレットを活用したデジタルスタンプ (NFT)、POP ツールを制作。
2024年10月13日からの期間中、県内各地のひょうごフィールドパビリオンでデジタルスタンプを集めると、抽選でマイクベ! ギフト2,000円分をゲットできます。



バーチャル万博

「バーチャル万博 ~空飛ぶ夢洲~」に TOPPAN バーチャルルームを出展

今回の万博は、実会場と同時にバーチャル空間でも開催されます。来場者はスマートフォンやPC、ヘッドマウントディスプレイで、いつでもどこからでも参加可能です。

TOPPAN はシグネチャーパビリオン「いのちめぐる冒険」への協賛特典として「バーチャル万博~空飛ぶ夢洲~」にて体験できる「TOPPAN バーチャル EXPO ~未来社会のデザイン」を出展。TOPPAN の技術と革新性、そしてグローバルに広がる未来社会創造への取り組みを、3つのルームで楽しみながら体験できます。アバター用の衣装や手持ちアイテムが入手できる仕掛けもご用意しております。

詳しくはこちら



デジタル推定復元した伊藤若冲の「釈迦十六羅漢図屏風」 制作:TOPPAN株式会社 監修:山下裕二(明治学院大学教授) 寛井経(東京藝術大学教授)

江戸時代の絵師・伊藤若冲の傑作「釈迦十六羅漢図屏風」について、デジタル推定復元の工程や、作品の魅力を楽しめます。



水素エネルギーの活用に向けた取り組みや、3Dプリンターを活用して培養肉をつくる取り組みを、アスレチックゲームを通じて楽しく学べます。



宇宙飛行を楽しみながら、TOPPANの「いのち」である世界中の社員たちと出会い、各地での取り組みや未来への挑戦を体感できます。

特設サイトにて紹介中!

TOPPANが大阪・関西万博に協賛している内容や、取り組み情報、協賛パビリオンのプロデューサー対談記事などを特設サイトにて発信します。

お問い合わせ
TOPPAN 株式会社
博覧会・IR推進室 チームエキスゴ共創事務局
teamexpo_partner@toppan.co.jp

詳しくはこちら

https://www.expo2025-toppa.com/



こんなところにTOPPAN!

TOPPAN!!! GUIDE BOOK

大阪・関西万博での取り組み



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

TOPPAN

GOLD PARTNER

大阪・関西万博の関わり



1970年にアジアで初めて開催された大阪万博以来、TOPPANは様々な事業で万博に携わってきました。2025年の大阪・関西万博でもTOPPANがこれまで培ってきたノウハウとソリューションを用いて、様々な事業に関わり万博成功に貢献しています。

提供：2025年日本国際博覧会協会

画像はイメージです。実際の会場とは配置・建物形状が一部異なる場合がございます。また本画像の無断転載・複製は一切お断りします。

TOPPANが関わっている主な催事

場所	期間	内容
大阪ヘルスケアパビリオン「リボンステージ」	5月4日～5月6日	東京書籍 / TOPPANホールディングス「ミライノブカウ」ステージイベント
EXPOメッセ「WASSE」	5月26日～6月3日	総務省主催の情報通信インフラに関する催事「Beyond 5G ready ショーケース」
	6月8日～6月15日	農林水産省・国税庁・文化庁が中心に行う取り組み展示「RELAY THE FOOD ～未来につなぐ食と風土～」
フューチャーライフヴィレッジ「TEAM EXPOパビリオン」	7月27日	TOPPANがこれまで「日本文化の継承と魅力発信」をテーマに行ってきた「TEAM EXPO 2025」プログラムの活動をもとに「伝統的造り」についてのイベントを実施
大阪ヘルスケアパビリオン「リボンステージ」	8月14日	東京書籍 / TOPPANホールディングス / 河森正治プロデュースパビリオンステージイベント
フューチャーライフヴィレッジ「フューチャーライフエクスペリエンス」	9月2日～9月15日	挑戦的な研究を推進する、大型研究プログラム「ムーンショット型研究開発制度」の体験・体感型展示を一部実施
シグネチャーパビリオン「いのちめぐる冒険」	4月～9月 (月3回程度)	多様なパフォーマーによるパフォーマンスショー

※イベント内容は予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。

会場外

- ▶大阪・関西万博開催に向けた交通需要マネジメント (TDM)：一般交通の抑制、分散、平準化を目的とした働きかけ広報および調査
- ▶大阪府市が発行する万博記録集制作：万博誘致から機運醸成イベント等の大阪府市の取り組みをまとめた記録集を制作
- ▶兵庫県の万博誘客施策：EXPO2025 デジタルウォレットを活用したデジタルスタンプ (NFT)、POP ツール制作

全体

- ▶「自動翻訳システム」協賛：会場内の外国人来場者案内の場で、高度な自動翻訳システムを提供 **協賛**
- ▶紙おむつ回収・リサイクル：会場内に紙おむつ回収ボックスを複数設置、回収物からリサイクル製品を製造 **協賛**
- ▶「マルチ電子マネーチャージ機」提供：チャージ機を60台以上提供。会場内の全面的キャッシュレス化を支援 **協賛**
- ▶来場者サービス実施計画策定・運営：想定来場者数約2,820万人、184日間の万博会場運営
- ▶デジタルサイネージのシステム構築と設置：効果的に情報配信するため、会場内17カ所にデジタルサイネージを設置
- ▶入場ゲート周辺およびバックヤードのサイン製作：来場者をスムーズに誘導案内するため、会場内に約900個のサインを設置

E 東ゲートゾーン

E1 大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn

- ▶企画運営：展示企画、内装施工、コンテンツ制作・運用などトータルサポート
- ▶3Dプリンターでつくる培養肉を展示：培養肉未来創造コンソーシアムの3D細胞培養技術でつくる培養肉を「ミライの都市」に出展 **協賛**
- ▶「時空をこえる学び場」出展：東京書籍が提案する、新しい多様な学びの体験を「ミライの都市」に出展 **協賛**
- ▶Osaka Metro出展ブース 企画設計、内装施工、映像制作：5面LEDを使ったボックス型没入シアター『ニューモビリティ・ニューライフ』の企画設計、内装施工、映像制作

E2 関西パビリオン

- ▶パビリオンに参加する1府7県の内、1府4県の展示基本計画、実施設計、展示内装設計施工、運営
滋賀県ゾーン / 福井県ゾーン / 京都府ゾーン / 鳥取県ゾーン / 兵庫県ゾーン

X シグネチャーゾーン

X1 シグネチャーパビリオン「いのちめぐる冒険」

- ▶ゴールドパートナーとして協賛：巨大LEDビジョンと高精細映像(一部)の提供とバーチャルパビリオンの制作 **協賛**

X2 シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」

- ▶ブロンズパートナーとして協賛：Web3を活用したサービス提供とバーチャルパビリオンの制作 **協賛**

P エンパワーリングゾーン

P1 ミヤクミヤクハウス

- ▶内装施工・運営、会場内着ぐるみ管理：「ミヤクミヤクハウス」の内装施工・運営と「ミヤクミヤク」の着ぐるみ管理・運営

W 西ゲートゾーン

W1 EXPOメッセ「WASSE」

- ▶展示計画・コンテンツ制作：「Beyond 5G ready ショーケース」、「RELAY THE FOOD～未来につなぐ食と風土～」の展示計画、コンテンツ制作

W2 EXPOサロン

- ▶内装設計施工：最大800人を収容できる多目的スペースの内装設計施工

W3 テーマウィークスタジオ

- ▶内装設計施工：テーマウィーク事業の情報発信拠点の内装設計施工

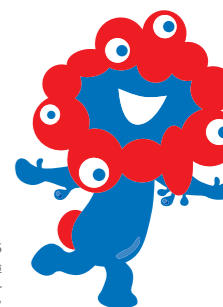
L フューチャーライフゾーン

L1 EXPOアリーナ「Matsuri」

- ▶催事管理：最大1万6千人の収容人数を誇る屋外イベント施設の催事管理センター運営

L2 フューチャーライフヴィレッジ

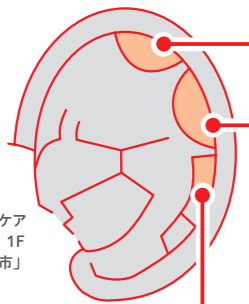
- ▶「ムーンショット型研究開発制度」期間出展：期間展示として、体験・体感型展示を「フューチャーライフエクスペリエンス」に出展
- ▶メディアアート「Zero Gravity Art」出展：産学共同研究成果のメディアアートを「フューチャーライフエクスペリエンス」に出展 **協賛**



©Expo 2025
大阪・関西万博
公式キャラクター
ミヤクミヤク

E 東ゲートゾーン

E① 大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn



大阪ヘルスケアパビリオン 1F「ミライの都市」

3Dプリンターでつくる培養肉を展示

培養肉未来創造コンソーシアムの3D細胞培養技術でつくる培養肉を「ミライの都市」に出展

細胞同士を接着させるTOPPAN独自のバイオマテリアルを活用し、大阪大学と共同で3D細胞培養技術「invivo®」を開発。会場ではウシ細胞を使った培養肉を3Dプリンターで作製し、展示を行います。

詳しくはこちら



大阪大学にて作製した培養肉切り肉 (2cm×1cm)



展示イメージ

滋賀県ゾーン

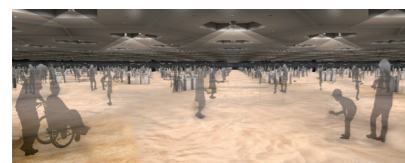
琵琶湖をテーマにした展示コンテンツ。人々が共生して、新しい技術を生み出し取り入れながら、持続可能な生活を築き、未来を創造する道に触れられる内容となっています。



出典：関西・WEBパビリオン

鳥取県ゾーン

世界的にアピールできる鳥取県独自の魅力を発信。導入展示では「まんが王国とっとり」の取り組みや観光情報を紹介。メイン展示では「鳥取無限砂丘」で、映像や虫眼鏡デバイスでの魅力探索を体験できます。



出典：関西・WEBパビリオン

企画運営

展示企画、内装施工、コンテンツ制作・運用などトータルサポート

大阪府市が主催し、大学や多くの協賛企業が一体となって取り組むパビリオンの一部スペースを、展示企画、内装施工、コンテンツ制作・運用などトータルでサポートしています。

「時空をこえる学び場」出展

東京書籍が提案する、新しい多様な学びの体験を「ミライの都市」に出展

TOPPANのグループ会社である東京書籍は、大阪府市が運営する大阪ヘルスケアパビリオンに協賛。出展ブースを「ミライの教室」に見立て、インタラクティブな体験ができる「ミライの黒板」を使った新しい学びのあり方を提案します。

詳しくはこちら



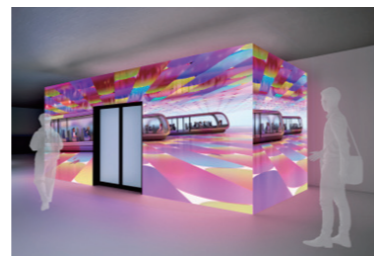
大阪ヘルスケアパビリオン



Osaka Metro 出展ブース 企画設計、内装施工、映像制作

5面LEDを使ったボックス型没入シアター『ニューモビリティ・ニューライフ』の企画設計、内装施工、映像制作

Osaka Metroが大阪ヘルスケアパビリオン1階「ミライの都市」に出展するブース『ニューモビリティ・ニューライフ』は、床面積約20㎡の5面LEDに「便利な交通により大きく変化した未来の大阪の街」を映し出した、スタンディング形式の没入シアターです。一度に約20人が体験する事ができ、内側シアターと外側シアターのダブルシアターで構成されています。TOPPANはブースの企画設計、内装施工、映像制作を行いました。



©Osaka Metro

E② 関西パビリオン

パビリオンに参加する1府7県の内、1府4県の展示基本計画、実施設計、展示内装設計施工、運営



提供：関西広域連合

福井県ゾーン

恐竜王国福井の魅力を感じられるコンテンツを制作。懐中電灯型デバイスを用いた探索展示や4面を囲む映像など、TOPPANソリューションを駆使した企画で、時空を超えた探検が楽しめます。



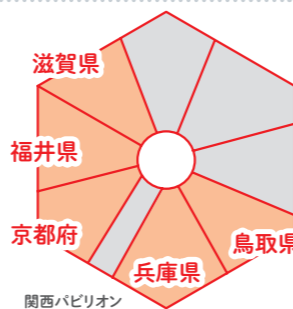
出典：関西・WEBパビリオン

兵庫県ゾーン

時空を超えた旅で兵庫県の魅力を体感するアトラクション型映像空間ミライバス、兵庫発のSDGsが体験できる「ひょうごフィールドパビリオン」などを通じて、歴史・文化などを幅広く紹介します。



出典：関西・WEBパビリオン



関西パビリオン

京都府ゾーン

テーマは「一座建立」。一定期間ごとに展示を入れ替え、文化、食、産業、環境、いのち、観光の6分野で京都ならではの魅力を発信。何度来ても違う京都を体験できます。



提供：大阪・関西万博きょうと推進委員会

X シグネチャーゾーン

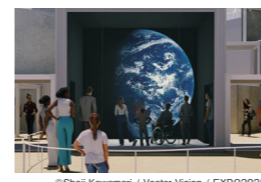
X① シグネチャーパビリオン 協賛 河森 正治プロデュース いのちめぐる冒険

GOLD PARTNER

巨大LEDビジョンと高精細映像(一部)の提供とバーチャルパビリオンの制作



「いのちめぐる冒険」パビリオン (イメージ) ©2024 Shojo Kawamori/Office Shogo Onodera. All rights reserved.



巨大ビジョンに映し出すいのちの輝き「宇宙の窓」

3万6千km離れた場所から見る今日の地球、卵の中で成長してゆく生命の姿など、人間の感覚器官では捉えられない時空スケールで撮影した超高精細映像を、4m超の巨大ビジョンに映し出します。

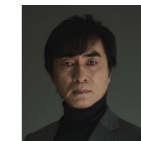


様々ないのちや、その関係性を体験するバーチャルパビリオン

「バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～」内で体験できる「いのちめぐる冒険」バーチャルパビリオン。様々な生き物で形作られた宙空に浮かぶ巨大な「いのち球」。この「いのち球」のまわりを巡り、いのちが多様性に溢れ、つながり合っていることのすばらしさを体感します。そして冒険は「いのち球」の内部へ。内部に展開される様々な生き物たちに出会い、最後は大地へ降り立ちます。いのちに触れ、いのちを感じられるバーチャル空間。



シグネチャーパビリオン「いのちめぐる冒険」公式サイト



アニメーション監督/メカニックデザイナー/ビジョンクリエイター

河森 正治プロデューサー Kawamori Shoji

テーマ：いのちを育む

『いのちは合体・変形だ!』をコンセプトに宇宙・海洋・大地を通して、テーマである全ての「いのちを育む」ことを表現します。

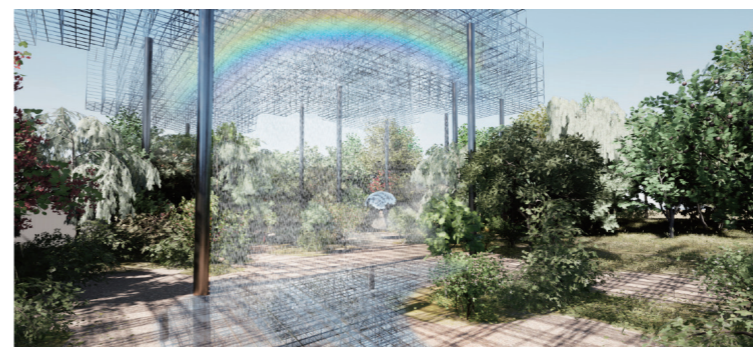
アニメーション監督・メカニックデザイナーである河森正治氏が担当する「いのちめぐる冒険」パビリオン(テーマ「いのちを育む」)にゴールドパートナーとして協賛します。

パビリオンは「今、ここに共に生きる奇跡」をメッセージに、はかなく、尊く、力強く、愛おしく、美しいいのちの輝きと、宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを表現。人間中心からいのち中心へのパラダイムシフトと、いのちを守り育てることの大切さを訴求します。TOPPANはパビリオンで展示される「宇宙の窓」に印刷で培った高度なカラーマネジメント制御機能を搭載した4m超の高精細巨大LEDビジョンと、高精細映像クリエイティブ技術で作成した映像の一部を提供。また、「バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～」内で体験できる「いのちめぐる冒険」バーチャルパビリオンを制作します。

X② シグネチャーパビリオン 協賛 宮田 裕章プロデュース Better Co-Being

BRONZE PARTNER

Web3を活用したサービス提供とバーチャルパビリオンの制作



「Better Co-Being」パビリオン (イメージ) ©SANAA all rights reserved



新しい思い出の残し方「Better Co-Being Journal」

「Better Co-Being Journal」は、万博に来場した方が会場で撮影した思い出の写真や動画を生成できます。さらに、その思い出の画像は特別なSBT(自分だけが保有できる特別なデータ)にしてEXPO2025デジタルウォレットに保管することができます。バーチャルパビリオンでは、Better Co-Beingの象徴であるダイバースフィアの中に入り、パビリオンに携わった人たちの思いや、来場した方々の思い出を込めたJournalが飾られた空間を旅することができます。来場した方々のJournalは公募により寄せられたものを展示し、みんなの思い出を集めた共鳴の空間をつくります。



みんなの思い出でつくりあげるバーチャルパビリオン



シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」公式サイト



慶應義塾大学医学部教授 宮田 裕章プロデューサー Miyata Hiroaki

テーマ：いのちを響き合わせる

来場者同士がつながり、響き合う中で共に未来を描く、共鳴体験を提供します。

慶應義塾大学医学部教授である宮田裕章氏が担当する「Better Co-Being」パビリオン(テーマ「いのちを響き合わせる」)にブロンズパートナーとして協賛します。

パビリオンは万博会場中央にある「静けさの森」の一角にあり、屋根も壁もありません。来場者はグループを組み、「人と人の共鳴」「人と世界の共鳴」「人と未来の共鳴」という大きく3つからなる共鳴体験を巡りながら、共に未来に向かいます。

TOPPANは、様々な共創を通じ、Web3技術を活用した新しい思い出の残し方「Better Co-Being Journal」を提供。また、「バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～」内で体験できる「Better Co-Being」バーチャルパビリオンを制作し、リアルとバーチャルをつなげる共鳴の空間を構築します。

P エンパワーリングゾーン

W 西ゲートゾーン

W1 EXPOメッセ「WASSE」 展示計画・コンテンツ制作

「Beyond 5G ready ショーケース」、「RELAY THE FOOD ~未来につなぐ食と風土~」の展示計画、コンテンツ制作

総務省、及び農林水産省・国税庁・文化庁他が
出展するEXPOメッセ「WASSE」。5月26日から
6月3日までは「Beyond 5G ready ショーケース」
で次世代の情報通信で実現する未来社会の体
験を提供、6月8日から15日までは「RELAY
THE FOOD ~未来につなぐ食と風土~」で日本
の食・農林水産業の魅力を発信します。TOPPAN
は展示計画やコンテンツ制作を行いました。



W2 EXPOサロン 内装設計施工

最大800人を収容できる多目的スペースの
内装設計施工

「EXPOサロン」は関係者限定の多目的スペース
です。会期中はパビリオン主催者や政府関係者
などが集まるセミナーやレセプションパーティー、
ビジネスマッチングに利用されます。このスペース
の内装設計施工をTOPPANが担当しました。



※画像はイメージです

P1 ミヤクミヤクハウス 内装施工・運営、会 場内着ぐるみ管理

「ミヤクミヤクハウス」の内装
施工・運営と「ミヤクミヤク」
の着ぐるみ管理・運営

「ミヤクミヤクハウス」では公式キャラクター「ミヤクミヤク」の誕生秘話やプロフィールを公開。写真撮影会も開催予定です。TOPPANは、2025大阪・関西万博マスターライセンスオフィスからの再受託先として「ミヤクミヤク」の着ぐるみ管理と合わせて「ミヤクミヤクハウス」の演出、内装施工、運営管理を行います。



©Expo 2025
大阪・関西万博
公式キャラクター
ミヤクミヤク

W2 テーマウィークスタジオ 内装設計施工

テーマウィーク事業の情報発信拠点の内装
設計施工

「テーマウィークスタジオ」ではテーマウィークイベントを収録・配信する予定です。その内容はYouTubeでも視聴できます。このスタジオの内装設計施工をTOPPANが行いました。



※画像はイメージです

L フューチャーライフゾーン

L1 EXPOアリーナ「Matsuri」 催事管理

最大1万6千人の収容人数を誇る屋外
イベント施設の催事管理センター運営

屋外イベント施設「EXPOアリーナ」では有名
アーティストのライブや自治体・企業主催の催
事など80を超えるイベントが実施予定。
TOPPANでは主催者の受入れ調整および本番
中のテクニカル(音響・照明等)対応、施設管理
を行います。



※画像はイメージです

L2 フューチャーライフ ヴァレッジ

「ムーンショット型
研究開発制度」期間出展

期間展示として、体験・体感型展示を
「フューチャーライフエクスペリエンス」に出展
超高齢化社会や地球温暖化などの社会課題に
対し、人々を魅了する野心的な目標を国が設定
し、挑戦的な研究を推進する、大型研究プログラ
ム「ムーンショット型研究開発制度」。
大阪・関西万博「フューチャーライフエクスペ
リエンス」期間展示で、体験・体感型展示を一部
実施します。
また、メタバース空間「Metapa」では、本制度の
未来像や研究成果を体験できる「MOONSHOT
Academy」を公開します。



※イメージバース

L2 フューチャーライフ ヴァレッジ

メディアアート
「Zero Gravity Art」出展

産学共同研究成果のメディアアートを
「フューチャーライフエクスペリエンス」に出展
京都大学防災研究所アートイノベーション産学共
同研究部門教授・土佐尚子氏がアーティスト活動
を行う場としているNTアンシエイツと、TOPPAN
ホールディングス、島津製作所は、
三者コンソーシアムにて制作したメ
ディアアート「Zero Gravity Art」を
「フューチャーライフエクスペリエ
ンス」に出展。芸術(アート)による新
しい価値創造を提案します。



※画像はイメージです



※イメージバース

万博会場全体

全体 「自動翻訳システム」協賛

会場内の外国人来場者案内の場で、高度な
自動翻訳システムを提供

イラスト提供：2025年日本国際博覧会協会

EXPO ホンヤク



● 1対1の多言語の会話シーンで利用
来場者はストアから無料でインストール可能、
30言語に対応(音声翻訳は13言語)

EXPO ホンヤク Remote



● 協会主催のガイドツアー等で利用
母国語でガイド説明の視聴可能、質問もOK、
13言語に対応

EXPO同時通訳システム クラウド版・スタンドアロン版



● 協会主催のセミナー等で利用
発表内容を同時通訳リアルタイムで字幕表示、
参加者のスマホにもリアルタイムで字幕を配信

全体 紙おむつ回収・リサイクル 協賛

会場内に紙おむつ回収ボックスを複数設置、回収物から
リサイクル製品を製造



詳しくはこちら

大阪・関西万博会場内に紙おむつの回収ボックスを設置。
会期中に発生する使用済み紙おむつを回収し、リサイクルする
実証実験を行います。
回収した使用済み紙おむつはリサイクル工
場でパルプとプラスチックに分解され、遊具
やシェルフ、紙おむつ回収ボックスなどにア
ップサイクルされます。回収からリサイクルま
での一貫工程の実証によって、紙おむつリサイ
クルの重要性を社会に発信します。



紙おむつ回収ボックス(イメージ)

全体 来場者サービス実施計画策定・運営

想定来場者数約2,820万人、184日間の万博会場運営

多種多様な来場者へのサービス・
情報提供を担う、万博全体の「運営
現場の最前線」を預かります。
主に以下の業務を行います。



※画像はイメージです

TOPPAN パート 主な業務内容

ユニバーサル サービス業務

- アクセシビリティセンター運営
- 関係者へのユニバーサルサービス研修実施
- 触知図・センサーマップ制作・運用
- ユニバーサル事例の収集・アーカイブ化

情報提供 サービス業務

- 情報制御室運営
- 情報提供サービスツール(デジタルサイネージ/
場内放送設備/EXPO2025 Visitors(アプリ))
の管理運用
- 会場内サイン計画・製作・設置・メンテナンス

全体 「マルチ電子マネーチャージ機」提供 協賛

チャージ機を60台以上提供。会場内の全面的キャ
ッシュレス化を支援



詳しくはこちら

大阪・関西万博では、世界規模で拡大するキャッシュレス化
への対応と、日本国内におけるさらなるキャッシュレスの普及を
目的に、会場内では現金決済を
受け付けず、全面的なキャッシュ
レス化が導入される予定です。
TOPPANエッジは、大阪・関西万
博のキャッシュレス化の趣旨に賛
同し、電子マネーの各ブランドの
支援の下、様々なブランドの電
子マネーにチャージできる「マル
チ電子マネーチャージ機」60台
以上の提供と運営を行います。



マルチ電子マネーチャージ機(左：卓上型、右：架台付き)
大阪・関西万博では専用ラッピングに変更して提供予定

全体 デジタルサイネージのシステム構築と設置

効果的に情報配信するため、会場内17カ所にデジタルサイネージを設置

「いのち」をテーマとする大阪・関西万
博にふさわしく、閉会後のリユースも視
野に入れたデジタルサイネージを会場
内17カ所に設置。TOPPANが担う来
場者サービスと連動し、コンテンツ制作
や配信システム構築も行っています。



※画像はイメージです

全体 入場ゲート周辺および バックヤードのサイン製作

来場者をスムーズに誘導案内するため、会場内に約900個のサイン
を設置

会場内に大小約900個のサインを設置。
入場から退場まで、来場者をスムーズに誘導案内します。